

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町吉町田12-1
TEL:68-7233

2月の事業実績と3月事業計画

日程	行事名称	実績	備考
2/12(日)	公民館まつり	済	
2/20(月)	社会見学 (大河ドラマ館、大樹寺、松平郷等)	済	
3/4(土)	第3回公民館運営審議会		
3/11(土)	公民館役員引き継ぎ会『消火、避難、通報訓練』		

すこやか講座 料理教室&人形劇鑑賞会

1/25(水) 午前は高齢者対象の料理教室、午後は高齢者・園児・児童と一緒に人形劇鑑賞の計画でした。午前の料理教室は都合により中止となり午後の人形劇鑑賞は計画通り実施できました。園児・児童42名、高齢者10名と一緒に楽しみ交流しました。顔を覚える程度地域の交わりができればと開催しています。今回の料理教室はコロナの影響以外で中止となりましたが来年は料理教室も含めて開催できるとよいですね。



JRさわやかウォーキングでの児童活動紹介

西部小6年生が地域の歴史として勉強してきた上ノ郷城と鶴殿氏に関する内容をリーフレットとしてまとめました。地域の歴史を域外の方にも知ってもらおうと、1月21日(土)のJRさわやかウォーキングの開催にあわせて当日都合のついた児童達が、赤日子神社、城跡までの経路、城跡などでそのリーフレットを配って上ノ郷城、鶴殿氏の歴史をアピールしました。大変多くの方にリーフレットをわたすことができ、児童の勉強の成果発表とともに多くの方に地域の歴史を理解してもらえたと思います。

・リーフレットは赤日子神社、城跡、公民館、博物館、観光町づくり課が配布した各旅館等市内の色々な場所におかれています。

・1/18日は名古屋駅中央コンコースに家康ゆかりの地インフォメーションセンターが設置され、そこにもリーフレットが置かれました。



名古屋駅コンコースの様子



名古屋駅

JRさわやかウォーキングでの公民館活動紹介

1月21日(土)公民館もJRウォーキング参加者を公民館に呼び込み上ノ郷城、鶴殿氏、蒲郡のアピールをするため活動しました。当日は御城印、発掘調査報告書、上ノ郷城物語の販売、公民館作成の城跡周辺MAP、市発行の各種蒲郡PR資料などを配布しました。

JRさわやかウォーキングは参加者も多く西部公民館始まって以来最高の人出となり、館内も大変混雑しました。用意した御城印も残り二枚で売り切れるところでした。蒲郡みかんのPRも忘れず行いました。用意したみかんは全てなくなり急遽追加で寄付頂いた分も残り二個までになりました。皆さん美味しいと好評でした。来年は蒲郡みかんを買ってくださいとPRしておきました。



公民館まつり演芸部門紹介

2月12日(日)3年ぶりとなる演芸部門を含めた公民館まつりを開催できました。昨年はコロナの影響で展示部門のみの開催となり、公民館だよりに展示作品をすべて紹介しました。なので、今年は演芸部門の様子をまず初めは紹介します。演芸部門は今年から、公民館利用クラブ・サークルも含めた団体の発表にしましたので、新たにトーンチャイム、キッズダンス、人形劇の3団体が加わり全11団体のステージ発表でした。



トーンチャイム (どりむ ちゃいむ)
毎週金曜日午後から練習しています。多人数で各人が担当の音を決め全員で音を合わせて繋げることで一つのメロディーが完成する楽器です。色々な会場に出演しているチームです。今回はNHKドラマの4曲を選んで演奏してくれました。



キッズダンス (Born☆+Little☆+Up☆)
毎週木曜日夕方から練習しています。園児、児童のダンスチームで毎年生涯学習発表会にも参加しています。ごりやく市でもダンス披露するようです。今回は公民館のステージでは狭すぎるということで公民館横のグラウンドでの披露となりました。



人形劇 (わ・わ・わ)
不定期で劇で使用する人形、備品の制作と練習をしています。西部学区文化への出演、各公民館、保育園にて人形劇の披露をしています。今回は新作のカニのとこやを披露してくれました。



大正琴 (JALレディース)
毎週土曜日午前に練習しています。公民館でしっかり練習している3曲を披露してくれました。①おまえに ②南国土佐を後にして ③南風でした。来年は新曲の発表を期待しています。



剣武
不定期で1回/週程度練習
当初17名でスタートしたが今年には遂に1名になってしまいました。
剣武に興味のある方、公民館まで連絡下さい。



民謡
コロナ禍で一度も公民館での練習はできませんでしたが、素晴らしい喉を披露してくれました。



歌謡
毎週木曜19時～21時まで活動中です。今回は当日の欠員補充に飛び入り参加で予定外の出演をしてくれた方も見え普段の練習の成果をいかに発揮されてみえました。



オカリナ
毎週土曜15時～18時まで活動中です。オカリナも暫くコロナの影響でエアオカリナ(吹かずに指だけ)とか屋外、マスクをしたまま吹くなど苦労しながら練習していました。最近は思うように練習できているようです。



琴
毎週火曜13時半～15時まで活動中です。琴はコロナの影響も少なく練習してきました。練習の成果を遺憾なく発揮できていました。今回は15分の持ち時間を1曲のみ『いつかどこかで』をひろうしてくれました。

残りは次号掲載

社会見学『どうする家康ゆかりの地めぐり』

2月20日(月)3年ぶりに社会見学に行ってきました。今回は家康ゆかりの地めぐりということで①岡崎大河ドラマ館②八丁味噌蔵③伊賀八幡宮④大樹寺⑤高月院の順に巡ってきました。当日は晴天でしたが風が冷たかったです。



大河ドラマ館



八丁味噌蔵



伊賀八幡宮



大樹寺



高月院

伊賀八幡宮は松平親忠が1470年に伊賀の国から現在地に移した。家康が戦の前に戦勝祈願に訪れていた松平家の氏神で、菩提寺である大樹寺とともに徳川家の保護を受けてきた。
高月院は松平郷にある松平氏の最初の菩提寺で浄土宗の寺院。松平氏と結びつくことで西三河に勢力を拡大した。

令和5年NHK大河ドラマ『どうする家康』放映中の豆知識

『これだけは知っておきたい上ノ郷城』

上ノ郷城は、初代の鶴殿長善から長将・長持・長照の四代にわたった鶴殿氏の居城である。

鶴殿氏は、十五世紀中頃に紀伊国熊野川河口の鶴殿地方から当地に移ってきたといわれる。当初は、熊野山領となっていた荘官として派遣されてきたもの。戦国時代に土着土豪として当地での勢力を次第に増大させた。

戦国期中頃になると今川氏が勢力を三河に拡大させた。とくに鶴殿氏三代長持の妻が今川氏親の娘であったことから、鶴殿氏は今川氏とは強力な従属関係にあった。桶狭間の戦い以後、松平元康(家康)は三河地方の平定に乗り出し、東三河のほとんどの武将たちが元康側になびいていく中、上ノ郷城の鶴殿氏はあくまでも今川方を固持していた。

竹谷松平氏四代目の清善は、元康の指示により、上ノ郷城攻めを幾度も行ったが、上ノ郷城の防御は強固なものであったため、なかなか落とせなかった。しびれを切らした元康は、上ノ郷城の北方にある通称「名取山」に陣を置いて、忍者を使って城中に火を放って、永禄五年(一五六二)二月、ついに鶴殿氏四代長照を討ち取り、上ノ郷城を陥落させたと言われている。

上ノ郷城の落城後、元康は実母である「於大の方」の再婚相手であった久松長家(俊勝)を上ノ郷城主に置いて西ノ郡を治めさせた。久松氏が城主となった上ノ郷城は、家康(一五六三年に元康は家康に改名)の命令により、大須賀五郎左衛門康高等によって改修工事が行われている。

天正十八年(一五九〇)、徳川家康の関東移封に伴い、西ノ郡近辺の諸氏は家康に従って関東に移ってしまい、廃城の末路をたどったと考えられている。

どうする家康放映中の公民館

ここ二ヵ月間で公民館に来ていただいた来訪者の皆さんと接して驚いたことを少し書きます。

①来訪の範囲は広く東京・岡山など遠くからお見えになります。また当初 安城、浜松市そして静岡とイベントの関係者と思しき方が物語の進行に沿って来られています。

②鶴殿さんが多く来られた事でこんなに近くにいたかと思いました。多くは西尾・吉良・豊橋の方で、親類に鶴殿さんがいる方に尋ねた所、『上ノ郷城合戦の前後で戦いを逃れたり、詮議を逃れたりし、武家を辞めて商家や農家として生きてきた方々いるのでは』と言う事でした

③毎日50人前後、多い日には100人くらいの方お見えになります。来館の目的も様々で観光の方もいればお城の専門家・単にお城好きな方々など探りながら日々地域のPRをしています。

公民館からのお知らせ

2月8日(水)三河湾ネットワークが公民館に取材にみえました。2月10日～17日までの期間で放映され、皆さんの中にも視聴された方もいると思います。
写真は小林館長が上ノ郷城の御城印を手に西部公民館をアピールしているカットです。新聞社、テレビの取材と今年はどうする家康のおかげで思わぬ経験が沢山でき職員一同良い思い出ができました。

